

2026年6月3日

各位

碧海信用金庫

有限会社石川梱包運輸との  
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、有限会社石川梱包運輸（代表取締役：石川 和文）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんSLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客さまの脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客さまと共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

## 記

## 1. 「へきしんSLL」について

本商品は、お客さまがサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO<sub>2</sub>排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

## 2. 契約締結先

会社名：有限会社石川梱包運輸

所在地：安城市池浦町池西34番地

代表者：石川 和文

事業内容：段ボール配送業務に特化した一般貨物運送

## 3. 契約内容

実行日：2026年5月22日

期間：10年

融資金額：非公表

以上

有限会社石川梱包運輸 サステナビリティ・リンク・ローン概要



【有限会社石川梱包運輸の概要】

・1993年創業の有限会社石川梱包運輸（以下当社）は、段ボール配送業務に特化した運送サービスを提供しています。東海圏内エリア中心の地元密着型で、安定した物流を支えています。



**段ボール配送に特化**  
段ボール製品の配送業務に特化しているため、品物に合わせた最適な積み付けや取扱いノウハウが蓄積されています。パレット積み対応で効率的な荷役も実現。

**充実した車両体制**  
35台の保有車両を活かした安定した配送体制を構築。リフト作業に対応した車両を揃えており、体力的な負担を軽減しながら効率的な物流を実現しています。



**30年超の実績と信頼**  
1993年の創業以来、愛知県安城市を拠点に地域の物流を支えてきた確かな実績。愛知県トラック協会会員として、業界の高い基準に沿った安全・安心な配送を提供します。

<当社のサステナビリティ>

## 環境への取組み

2050年カーボンニュートラル実現に向け、運送業界としての責任を果たします。CO2削減への取組みを通じて、持続可能な物流の未来を地域と共に築いています。

### カーボンニュートラルへの貢献

日本政府が宣言した「2050年カーボンニュートラル」目標に賛同し、CO2削減協力企業として積極的な取組みを推進。運送事業者として排出量削減に向けた行動を続けています。

## 働き方改革の取組み



## 【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したKPIは当社におけるCO<sub>2</sub>排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したSPTsは2025年5月31日（2024年度）を基準日とする対比により、2036年5月31日（2035年度）にCO<sub>2</sub>排出量の削減率29.7%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にCO<sub>2</sub>排出量の削減率を公表し、初回判定は2027年5月31日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値					
基準日	2025/5/31	基準日時点排出量（単位：t-CO <sub>2</sub> ）			600.47
基準日以降各年次	2027/5/31	2028/5/31	2029/5/31	2030/5/31	2031/5/31
基準日比削減率	2.9%	5.8%	8.7%	11.7%	14.7%
基準日以降各年次	2032/5/31	2033/5/31	2034/5/31	2035/5/31	2036/5/31
基準日比削減率	17.7%	20.7%	23.7%	26.7%	29.7%

## 【SPTsの野心性】

- ・当社はScope1、Scope2のCO<sub>2</sub>排出量において、国のNDCを上回る水準の削減計画を策定している。
- ・当社自身のトラックレコードとの比較についても、野心性が認められる。

## 【SPTs達成手段】

- ・Scope1については、トラックの運行効率を見直し、アイドリングストップやエコドライブを徹底していく。
- ・Scope2については、事務所の照明をLEDに転換し、省エネ運用を実施する。
- ・将来的にはScope3の算定、削減を検討していく。

## 【SPTsの妥当性】

- ・当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるSPTsの妥当性について検証した結果、へきしんSLLのCO<sub>2</sub>排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以 上